

## 全国保健師長会宮城県支部研修会の報告について

2016.06.04（土） 全国保健師長会宮城県支部研修会 27名出席

「横浜市における人材育成の取組みについて」

横浜市神奈川区福祉保健センター福祉保健課長 藤原 啓子 氏

保健師が450人を越える横浜市において、どのように保健師の人材育成を推進したか具体的な取組みについて御講演いただきました。

キャリアラダー作成の経緯や、人材育成の指標を作成したことによる効果や意義等についてわかりやすく説明して頂きました。

定番業務をやることが保健師業務と捉えている場合に、どうやって「公衆衛生看護」の視点を考えてもらうかを模索し、「公衆衛生ドリル」に取り組んだこと。その結果公衆衛生看護の視点の身近な解説者が重要であること、解説者を育成するために、管理期保健師の研修を充実させたこと等が、今後本県において取組む必要があることだと感じました。保健師が育つことは、公衆衛生行政・地域保健行政の充実につながるということを意識しながら、今後の活動に取り組んでいきたいと感じました。

宮城県支部長 岡本咲子

